

平成 21 年 12 月 16 日

セミナー・シンポジウム等の開催について

第 1 回中国四国男女共同参画シンポジウム

文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の取組の最終年度にあたり、中国四国地方におけるこの取組をさらに推進し、地方の活性化、ひいては日本の活性化につなげていく意識を共有するために、第 1 回中国四国男女共同参画シンポジウムを、下記のとおり開催いたします。

なお、パネルディスカッションでは、中国四国地方における課題と展望について意見を交わし、中国四国地方としてのアピール文を出したいと考えております。

記

日時：12月21日（月） 13時から
場所：ホテルグランヴィア広島 天平の間

【お問い合わせ先】

広島大学女性研究者支援プロジェクト（CAPWR）
TEL・FAX:082-424-4355

平成 21 年度国際産学官連携戦略シンポジウム

文部科学省産学官連携戦略展開事業（戦略展開プログラム）の「平成 21 年度国際産学官連携戦略シンポジウム～地域大学との連携を視野に入れた国際産学官連携活動に向けた取り組みの紹介～」を、下記のとおり開催いたします。

記

日時：平成 22 年 1 月 22 日（金） 13時～から
場所：広島ガーデンパレス 2 階 孔雀・朱鷺の間

【お問い合わせ先】

社会連携・情報政策室

社会連携グループ 村上 尚

TEL:082-424-5672、FAX:082-424-6189

第28回東京イブニングセミナー

広島大学東京オフィスで、下記のとおり東京イブニングセミナーを開催いたします。平成22年度の基本テーマは、環境関係です。

日時：平成22年1月29日（金）18時～21時

場所：キャンパス・イノベーションセンター

（東京都港区芝浦田町3-3-6）

【お問い合わせ先】

社会連帰依・情報政策室

社会連携グループ 村上 尚

TEL:082-424-5672、FAX:082-424-6189

第1回中国四国男女共同参画シンポジウム

第3回広島大学男女共同参画シンポジウム

～『協働』社会へ！中国四国地方からのアピール～

日時 平成21年12月21日(月)

場所 ホテルグランヴィア広島 天平の間(3F)

目的 文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」の取組みが中国四国地方でも少しずつ根付いています。「女性研究者支援モデル育成」の取組みは、男女が差別されることなく、誰もがそれぞれの能力を発揮することができる「協働」の社会や組織をつくっていくことを究極の目標としています。中国四国地方におけるこの取組みをさらに推進し、地方の活性化、ひいては日本の活性化につなげていく意識を共有するために、第1回中国四国男女共同参画シンポジウムを企画いたしました。みなさまの積極的な参画をお願いいたします。

13時00分～ 男女共同参画シンポジウム(入場無料)

主催者挨拶(13時00分～) 浅原 利正(広島大学長)

特別講演I(13時10分～) 文部科学省 科学技術・学術政策局
「わが国における女性研究者支援の取組と現状」

特別講演II(13時40分～) 豊田 麻子(広島市副市長)

基調講演(14時10分～) 有賀 早苗(北海道大学大学院農学研究院教授/副理事・女性研究者支援室長)
「首都圏等研究機関集中地域外の大学における女性研究者支援の課題と展望」

〈休憩 15時10分～15時20分〉

パネルディスカッション(15時20分～17時20分)

「中国四国地方における男女共同参画の課題と展望」

●パネリスト

岸 啓子(愛媛大学教育学部教授/男女共同参画推進専門委員会委員)
本水 昌二(岡山大学男女共同参画室特任教授)
福田由美子(広島工業大学工学部建築工学科教授/女子学生キャリアデザインセンター長)
青野 篤子(福山大学人間文化学部教授/人間科学研究科長・学部長補佐)

●コメンテーター

文部科学省 科学技術・学術政策局
有賀 早苗(北海道大学大学院農学研究院教授/副理事・女性研究者支援室長)

●コーディネーター

相田美砂子(広島大学大学院理学研究科教授/副理事・男女共同参画推進室長)



17時30分～ 情報交換会 ホテルグランヴィア広島 飛鳥の間(3F)(参加費 5,000円)

主 催
広島大学

広島大学男女共同参画推進室
URL <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku/>

お申し込み・お問い合わせ



広島大学女性研究者支援プロジェクト(CAPWR)

TEL・FAX 082-424-4355

メールアドレス capwr55@hiroshima-u.ac.jp URL <http://www.capwr.com/>

シンポジウムのお申込みは、ホームページをご覧の上12月4日(金)までお願いいたします。

託児室あります ご希望の方は12月4日(金)までにご連絡ください(無料)

文部科学省産学官連携戦略展開事業(戦略展開プログラム)

大学・高専・公的研究機関の教職員及び一般企業の方

平成21年度 **参加費無料** 国際産学官連携戦略シンポジウム

～地域大学との連携を視野に入れた
国際産学官連携活動に向けた取り組みの紹介～

1.22(金) 平成22年

13:00 ～ 17:40 シンポジウム

17:45 ～ 19:00 情報交換会

場所

広島ガーデンパレス 広島市東区光町 1-15

2階 孔雀・朱鷺 シンポジウム

2階 華 情報交換会(会費:4千円)



広島大学

主催：国立大学法人広島大学



■プログラム

シンポジウム

12:30	受付	
13:00	開会の挨拶	広島大学 学長 浅原 利正
13:10	基調講演「産学官連携の現状と課題」(仮題)	文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課 山崎 淳一郎
13:40	特別講演「中国地域産学官連携コンソーシアム事業の現状と展望」	岡山大学研究推進産学官連携機構長 曾良 達生
14:10	特別講演「九州大学の国際産学官連携戦略活動について」	九州大学知的財産本部国際産学官連携センター国際法務室長 岡田 昌治
14:40	「広島大学の国際産学官連携活動の紹介」	広島大学 産学連携センター 副センター長 高田 忠彦
15:10～15:25 休憩		
15:25	「米国における産学官連携活動」	広島大学産学連携センター 国際産学官連携コーディネーター 森本 弘
15:55	「欧州における産学官連携活動」	広島大学産学連携センター 国際産学官連携コーディネーター 菅 和夫
16:35	「海外企業との共同研究における契約・法務関係の対応について」	永島・橋本法律事務所 弁護士 永島 孝明
17:30	閉会の挨拶	広島大学 副理事(社会連携担当)・社会連携推進機構長 藤岡 幸男

情報交換会

17:45～19:00 情報交換会 会費：4千円

■お申し込み方法 FAX か E-mail でお申込ください。(下記ホームページからでもできます。)

FAX : 082-421-3788

E-mail : crcinter@hiroshima-u.ac.jp

【申込締切日】平成22年1月11日(月)

広島大学産学連携センター国際産学連携担当 行

※定員になり次第締め切らせていただきます。

機関名	所在地 (勤務先)	〒
氏 名	所 属 役 職	
電 話	FAX	
E-mail アドレス	情報交換会参加(4千円)	参加する ・ 参加しない

■お問合せ

広島大学産学連携センター 国際産学連携担当

TEL : 082-421-3708 FAX : 082-421-3788

E-mail アドレス : crcinter@hiroshima-u.ac.jp

HP : <http://www.hiroshima-u.ac.jp/news/show/id/6696>



広島大学第28回東京イブニングセミナー

■日時: 2010年1月29日(金) 18:00 ~ 21:00 (受付 17:30~)

■場所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター(下図参照: JR田町駅 芝浦口 徒歩1分)

■費用: 講演会・無料、交流会・2,000円(当日支払い)

■主催: 広島大学(社会連携推進機構, 工学研究科)



■講演プログラム

1. 18:00~18:15 講師紹介及び工学研究科の紹介

2. 18:15~19:35 講演

(1) 生理的指標を用いた屋外環境評価の試み

西名大作 (工学研究科 教授)

＜概要＞ 人々が休息やレクリエーションを行い、精神的なストレスから解放される場として、緑地や水辺などの自然空間の重要性はますます高まっており、建築物にも屋上緑化やアトリウムなど、様々な形で導入が進んでいます。しかしながら、それら屋外環境の有するいかなる物理的特性が人間にどのような効果を及ぼすのかについては、明確な結論は得られていません。今回は、今後、屋外環境の積極的な活用を意図した設計・計画を進めるための基礎的資料を得ることを目的として、実際の水辺空間を対象とした実験結果に基づき、屋外環境の有する心理・生理的効果を、脳波測定を通して明らかにする試みについて紹介いたします。

(2) GIS(地理情報システム)と環境配慮型まちづくり

田中 貴宏 (工学研究科 准教授)

＜概要＞ 一般にGISは「地理情報システム」と訳されており、Google MapsやGoogle Earthのような形で社会にも広まりつつあります。また一方、近年まちづくりにおける環境配慮の必要性が急速に認識されてきており、現在多くの都市や地区で、様々な試みがなされています。環境配慮型まちづくりにおいては、様々な主体が意思決定プロセスに関わるため、まずそれらの人々が対象地の環境に対する共通の認識をもつことが重要であると考えられます。このようなまちづくりにおいて、前述のGISは環境解析ツールとしてのみならず、情報共有ツールとしてもその可能性が期待されています。そこで、今回はGISを活用した環境配慮まちづくりの取り組みを紹介したいと思います。

3. 19:40 ~ 21:00 交流会

■ お申込み方法: 添付の「参加申込書」に所定の事項を記入頂き、FAXあるいはE-mailにて下記までお申込み下さい。(定員 60名)

申込み・問合せ先

広島大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパスイノベーションセンター507号室

電話: 03-5440-9065

FAX: 03-5440-9117

E-mail: liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

